

第21期

事業年度
自:2024年 4月 1日
至:2025年 3月31日

計算書類

- 1、貸 借 対 照 表
- 2、損 益 計 算 書
- 3、株主資本等変動計算書
- 4、個 別 注 記 表

JFE商事エレクトロニクス株式会社

東京都千代田区大手町2丁目2番1号

貸借対照表

JFE商事エレクトロニクス株式会社

2025年 3月31日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
千円		千円	
【流動資産】	[8,471,522]	【流動負債】	[6,124,167]
現金及び預金	299,485	支払手形	783,634
受取手形	6,336	電子記録債務	10,153
電子記録債権	419,331	買掛金	2,187,557
売掛金	3,736,956	短期借入金	2,720,000
商品	3,491,297	未払金	7,279
前渡金	107,447	未払費用	70,437
前払費用	39,996	未払法人税等	12,528
未収入金	11,859	前受金	186,235
未収還付消費税	355,208	預り金	7,783
未収還付法人税等	52	賞与引当金	130,257
貸倒引当金	△ 10,455	その他	8,298
その他	14,006		
【固定資産】	[427,485]	【固定負債】	[233,022]
[有形固定資産]	(10,404)	退職給付引当金	195,712
建物付属設備	835	役員退職慰労引当金	37,310
工具器具備品	9,568		
		負債合計	6,357,189
		純 資 産 の 部	
		科 目	金 額
[無形固定資産]	(16,488)		
特許権	1,476		千円
ソフトウェア	15,011	【株主資本】	[2,544,092]
		[資本金]	(1,000,000)
[投資その他の資産]	(400,592)	[資本剰余金]	(400,000)
関係会社株式	59,073	資本準備金	400,000
関係会社出資金	104,208	[利益剰余金]	(1,144,092)
ゴルフ会員権	16,245	その他利益剰余金	
長期前払費用	2,585	繰越利益剰余金	1,144,092
繰延税金資産	209,732		
敷金	8,747	【評価・換算差額等】	[△2,273]
破産更生債権等	1,636	[繰延ヘッジ損益]	△ 2,273
貸倒引当金	△ 1,636		
		純資産合計	2,541,819
資産合計	8,899,008	負債及び純資産合計	8,899,008

損 益 計 算 書

JFE商事エレクトロニクス株式会社

自:2024年 4月 1日
至:2025年 3月31日

科 目	金 額	
	千円	千円
売 上 高		13,777,038
売 上 原 価		11,802,692
売 上 総 利 益		1,974,346
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		1,633,656
営 業 利 益		340,689
営 業 外 収 益		227,952
受 取 利 息	132	
仕 入 割 引	57,877	
受 取 配 当 金	90,334	
為 替 差 益	26,718	
受 注 損 失 引 当 金 戻 入	25,500	
そ の 他	27,389	
営 業 外 費 用		57,459
支 払 利 息	44,211	
デ リ バ テ ィ ブ 評 価 損	6,193	
そ の 他	7,054	
経 常 利 益		511,182
税 引 前 当 期 純 利 益		511,182
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	95,657	
法 人 税 等 調 整 額	60,181	155,838
当 期 純 利 益		355,344

株主資本等変動計算書

JFE商事エレクトロニクス株式会社

(単位:千円)

自:2024年 4月 1日
至:2025年 3月31日

	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本 合計
		資本準備金	資本 剰余金 合計	その他利益 剰余金	利益剰余金 合計	
				繰越利益 剰余金		
当期首残高	1,000,000	400,000	400,000	993,485	993,485	2,393,485
当期変動額						
剰余金の配当				△ 204,737	△ 204,737	△ 204,737
当期純利益				355,344	355,344	355,344
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						
当期変動額合計	-	-	-	150,607	150,607	150,607
当期末残高	1,000,000	400,000	400,000	1,144,092	1,144,092	2,544,092

	評価・換算差額等		純資産 合計
	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等 合計	
当期首残高	△ 2,910	△ 2,910	2,390,574
当期変動額			
剰余金の配当			△ 204,737
当期純利益			355,344
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	637	637	637
当期変動額合計	637	637	151,245
当期末残高	△ 2,273	△ 2,273	2,541,819

<個別注記表>

1、重要な会計方針に関する注記

- 1 子会社株式及び市場価格のない其他有価証券の評価基準及び評価方法は、移動平均法による原価法によっております。
- 2 棚卸資産の評価基準及び評価方法は、移動平均法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法)によっております。
- 3 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法についてはリース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。
- 4 有形固定資産(リース資産を除く)の減価償却の方法は、定率法によっております。
但し、2016年4月1日以降に取得した建物附属設備については、定額法によっております。
- 5 無形固定資産及び長期前払費用の減価償却の方法は、定額法によっております。
尚、ソフトウェア(自社利用)は社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。
- 6 貸倒引当金は、債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、
貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。
- 7 賞与引当金は、従業員の賞与金の支給に備えるため、賞与支給見込額の当期負担額を計上しております。
- 8 退職給付引当金は、従業員の退職給付に備えるため、当期末要支給額に基づき計上しております。
- 9 役員退職慰労引当金は、役員の退職慰労金の支給に備えるため、当期末要支給額に基づき計上しております。
- 10 当社は半導体、実装機、洗浄剤、監視カメラなど多岐にわたる商品を取り扱っており、本人として行う商品の販売については、顧客から受け取る対価の総額で収益を認識し、当社が第三者の代理人として取引を行っている場合には、顧客から受け取る対価の総額から第三者のために回収した金額を差し引いた純額で収益を表示しております。
量産品、汎用品等に係る国内取引については、出荷時から当該商品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の期間であるため、出荷時に収益を認識しており、輸出取引についてはBL(船荷証券)、AWB(航空貨物運送状)発行日において収益を認識しております。
機械の据付を要する取引や開発取引等、顧客の検収を要する取引については顧客への受渡・検収が完了した時点において顧客が当該商品に対する支配を獲得、履行義務(商品の受渡に関する手配)が充足されると判断し、収益を認識しております。
- 11 ヘッジ会計の方法
 - (1)ヘッジ会計の方法
繰延ヘッジ処理によっております。
 - (2)ヘッジ手段とヘッジ対象
ヘッジ手段・・・為替予約取引
ヘッジ対象・・・外貨建予定取引
 - (3)ヘッジ方針
為替予約取引については、外貨建予定取引等に係る為替変動リスクへの対応を目的として、一時的利益獲得を目的とした投機的な取引は行いません。

(追加情報)

従来、役員に対して支給する賞与に備えるため、支給見込額に基づき役員賞与引当金を計上しておりましたが、支給対象期間を見直したことに伴い、翌事業年度支給分のうち、当事業年度における負担がなくなったため、当事業年度末において役員賞与引当金は計上しておりません。

2、貸借対照表に関する注記

1	関係会社に対する短期金銭債権	752,381 千円
2	関係会社に対する短期金銭債務	2,779,266 千円
3	有形固定資産の減価償却累計額	31,546 千円
4	保証債務	
	短期借入金	128,022 千円
	当社の子会社であるJFE Shoji Electronics Malaysia Sdn. Bhd.の金融機関からの短期借入金に対し債務保証を行っております。	

3、損益計算書に関する注記

1 関係会社との営業取引による取引高	
売上高	7,074,737 千円
仕入高	351,704 千円
販売費及び一般管理費	124,960 千円
2 関係会社との営業取引以外の取引高	113,330 千円

4、株主資本等変動計算書に関する注記

- (1) 当該事業年度の末日における発行済株式の数
普通株式 13,000 株
- (2) 剰余金の配当に関する事項

①配当金支払額					
決議	株式の種類	配当金の金額	1株当たり配当額	基準日	効力発生日
2024年6月26日 定時株主総会	普通株式	204,737千円	15,749円	2024年3月31日	2024年6月27日
②基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの					
決議予定	株式の種類	配当金の金額	1株当たり配当額	基準日	効力発生日
2025年6月26日 定時株主総会	普通株式	未定	未定	2025年3月31日	2025年6月27日

5、税効果会計に関する注記

- (1) 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳
- | | |
|----------|-------------|
| 繰延税金資産 | |
| 棚卸資産評価損 | 92,698 千円 |
| 退職給付引当金 | 62,628 千円 |
| 賞与引当金 | 40,380 千円 |
| 未払社会保険料 | 5,024 千円 |
| 未払事業税 | 3,191 千円 |
| その他 | 22,628 千円 |
| 繰延税金資産小計 | 226,549 千円 |
| 評価性引当額 | △ 16,817 千円 |
| 繰延税金資産合計 | 209,732 千円 |
- (2) 法人税及び地方法人税の会計処理又はこれらに関する税効果会計の会計処理
当社は、グループ通算制度を適用しており、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日)に従って、法人税及び地方法人税の会計処理又はこれらに関する税効果会計の会計処理並びに開示を行っております。

6、金融商品に関する注記

- (1) 金融商品の状況に関する事項
- ① 金融商品に対する取組方針
当社は、資金運用については、短期的な預金に限定しております。
資金調達手段については、JFEホールディングス㈱からの借入れによっております。
デリバティブは、後述するリスクを回避するために利用しており、投機的な取引は行わない方針であります。
- ② 金融商品の内容及びそのリスク
営業債権である受取手形、売掛金は、顧客の信用リスクに晒されております。
営業債務である支払手形、買掛金は、全て1年以内の支払期日であります。
また、外貨建ての営業債権・営業債務は、為替変動リスクに晒されておりますが、原則として為替予約取引を利用してヘッジしております。
借入金は、変動金利であるため金利の変動リスクに晒されております。
当社が利用している、通貨関連のデリバティブ取引である為替予約取引は、外貨建取引に係る為替相場変動リスクを回避または軽減することを目的としております。
為替予約取引は外貨建輸出入取引に係る債権債務等の範囲内で行っておりますので、そのリスクは機会利益の逸失の範囲内にとどまっております。

通貨関連の為替予約取引の契約先はいずれも高い信用格付を有する金融機関であり、取引先の契約不履行に伴う信用リスクはほとんどないと判断しております。
ヘッジ会計に関するヘッジ手段とヘッジ対象、ヘッジ方針の評価方法等については、前述の「ヘッジ会計の方法」をご覧ください。

③ 金融商品に係るリスク管理体制

- I 信用リスク(取引先の契約不履行に係るリスク)の管理
当社は、不良債権の発生防止、債権の質の向上のため「信用管理規程」を制定し与信管理を行っております。
- II 市場リスク(為替や金利等の変動リスク)の管理
当社は、通貨関連および金利関連については、「管理部門デリバティブ取引管理規程」を設けております。
同規定に基づき、企画業務部が取引を行い、毎月末に取引明細書を作成し、3ヶ月ごとに金融機関残高証明書と照合を行った上で企画業務部担当取締役へ報告しております。また、企画業務部担当取締役は取締役会において定期的に取引状況の報告を行っております。
- III 資金調達に係る流動性リスク(支払期日に支払いを実行できなくなるリスク)の管理
当社の資金調達につきましては、全額、JFEホールディングス㈱からの借入れとなっており流動性リスクはないと判断しております。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

2025年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。
なお、非上場の株式(貸借対照表計上額 59,073千円)については、市場価格が無く、かつ将来 キャッシュフローを見積もることができず、時価を把握することが極めて困難と認められる為、注記しておりません。
また、現金及び預金、営業債権並びに短期借入金、営業債務については、短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似することから、注記を省略しております。

単位:千円			
	貸借対照表 計上額	時価	差額
①デリバティブ取引(※1)			
・ヘッジ会計適用	△ 3,343	△ 3,343	-
・ヘッジ会計非適用	△ 4,955	△ 4,955	-
デリバティブ取引計	△ 8,298	△ 8,298	-

(※1)デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しており、合計で正味の債務となる項目については、△で示しております。

(注) 時価の算定に用いた評価技法及びインプットの説明

金融商品の時価を、時価の算定に用いたインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。

- レベル1の時価: 同一の資産又は負債の活発な市場における(無調整の)相場価格により算定した時価
- レベル2の時価: レベル1のインプット以外の直接または間接的に観察可能なインプットを用いて算定した時価
- レベル3の時価: 重要な観察できないインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

①デリバティブ取引

デリバティブ取引の時価は、公表された相場価格が存在しないため、取引先金融機関からの提示価格等に基づき算定しており、レベル2の時価に分類しております

7、 1株当たり情報に関する注記

1 一株当たり純資産額	195,524 円 55銭
2 一株当たり当期純利益	27,334 円 19銭

8、 収益認識に関する注記

収益を理解するための基礎となる情報は「1. 重要な会計方針に関する注記10」に記載の通りであります。